

罰は絶望を 生む



東郷 潤

恐怖を動機付けとして利用すれば、その分、恐怖が増えますね。たとえば母親の罰が怖くて、ウソをつく子がいたとします。



あなたね、
お皿を割ったの？

ううん、
ぼくじゃないよ



ある日、母親が気付きました。 この子、嘘ついていると。

そこで母親は、子供が嘘をつかないよう恐怖の動機づけで命令しました。



**嘘をついたらダメ！
嘘をついたら地獄で
舌を抜かれるの**



ある日、子供がまたお皿を割ってしまいました。



さあ、大変です。正直に言えば、母親の罰を受けます。嘘をつけば、地獄で舌を抜かれます。

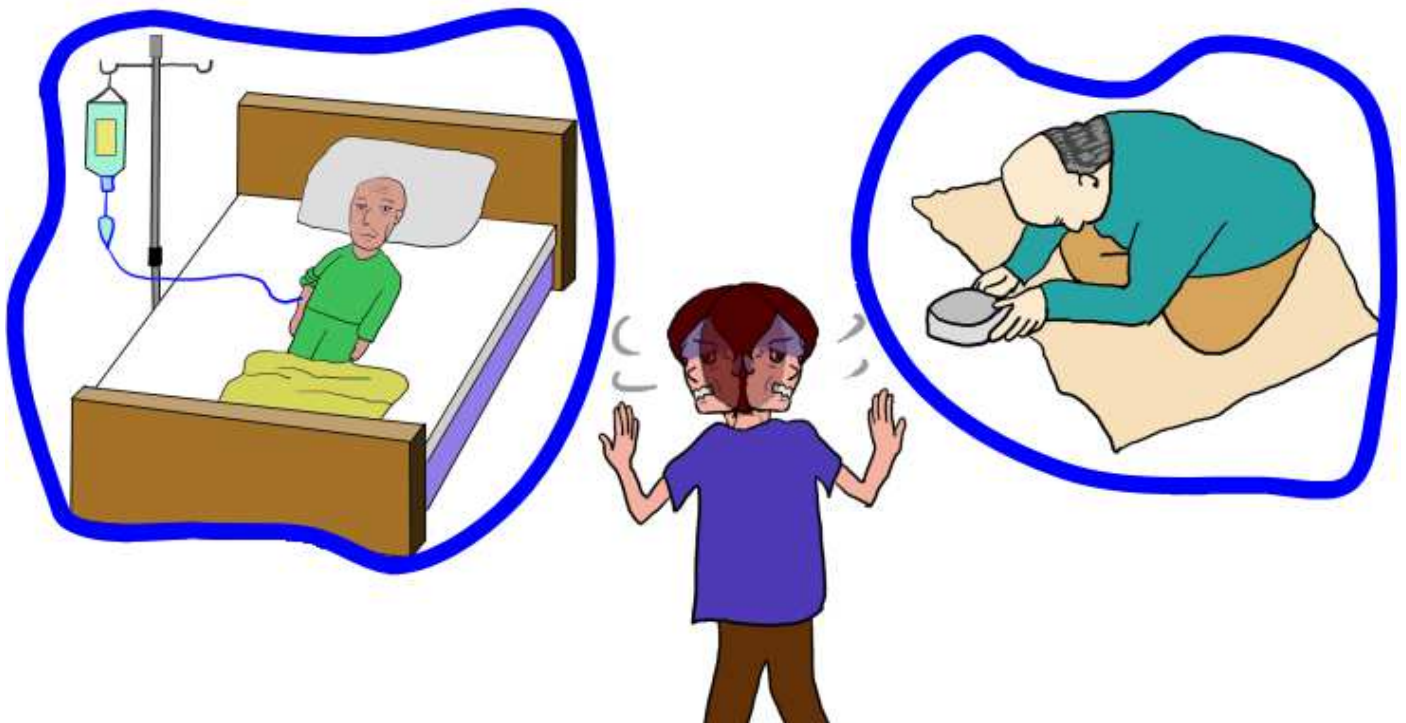


どちらを向いても、罰。そこには絶望しかありません。

**さて、罰と恐怖の動機付けは、その即効性
と比類なき強制力により、現代社会
のあらゆる局面で利用されています。**

**外でしっかり運動
しないと、病気に
なるぞ**

**勉強をしないと、
ホームレスに
なるぞ！**



笑い者になるぞ

襲われるぞ

破産するぞ



逮捕されるぞ



死刑になるぞ



殴られるぞ



地獄に落ちるぞ



バカにされるぞ

**罰・恐怖が生むのは、
絶望です。**



**夢や希望では
ありません。**

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、多くの方に読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017